

「食支援フォーラム in 庄内2025」 実施要領

1 目的

高齢者や障がいのある方等は、咀嚼する力や嚥下機能の低下等により口から食事を摂ることが難しくなり、誤嚥性肺炎を発症したり、胃瘻造設や経鼻経管栄養を余儀なくされることも少なくない。

しかし、「口から食べる」ことは、栄養素の摂取だけでなく、食べる楽しみや味わう喜びが生まれ、その人の生きる意欲につながる大切な行為であり、高齢者のフレイル予防や、要介護者の栄養状態・要介護度の改善等にもつながることから、「口から食べる」ことを支援する「食支援」の取組みは、高齢者や障がい者等がいつまでも地域でいきいきと暮らしていくため、今後益々重要となってくるものと考えられる。

一方、このような食支援の取組みにおいては、口から食べることを難しくする様々な要因を解決するため、医療職（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ専門職、歯科衛生士）・介護職（介護支援専門員、ヘルパー、介護福祉士等）等が協働して支援する「多職種による食支援」が必要である。

庄内地域では、こうした食支援団体として、南庄内地域では「南庄内・たべるを支援し隊」が、北庄内地域では「北庄内食援隊」が活動しており、それぞれの地域で食支援の輪が広がってきている。また、「鶴岡食材を使った嚥下食を考える研究会」の活動により、嚥下食提供飲食店が広がりを見せている。

そこで、医療・介護等に携わる多職種・多業種の交流により、お互いの活動を知り知識を深め、相互に連携した食支援活動の強化につなげるとともに、広く地域住民に対し食支援の重要性の理解を深めることを目的に、このフォーラムを開催する。

2 実施主体 山形県庄内総合支庁、山形県庄内保健所

3 対象者

医療・介護等に携わる関係者（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ専門職、歯科衛生士、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員等）、県・市町村の行政職、食支援に関心がある飲食店、教育機関、地域住民等（約150人）

4 開催日時および会場

日時：令和7年9月6日（土） 12：30～ 開場、食支援に関する展示・紹介
13：30～ 開会、講演・活動報告等
16：30 閉会

会場：東北公益文科大学 公益ホール 大ホール及び中研修室
（山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1）

5 フォーラムの内容（会場：大ホール）

（1）挨拶

（2）講演（約60分）

演題 「食支援がつなげる地域の笑顔～いつまでも口から食べるために～」
講師 ヒューマンデンタルクリニック 歯科医師 飯田 良平 氏

(3) 食支援の活動報告 (約25分)

- ・ 北庄内食援隊
- ・ 南庄内・たべるを支援し隊
- ・ 鶴岡食材を使った嚥下食を考える研究会

(4) 庄内地域での食支援の取組み (好事例を含めて) (約40分)

- ・ 介護支援専門員が食支援につなげた事例①
- ・ 介護支援専門員が食支援につなげた事例②
- ・ ICTを活用した食支援事例
- ・ 施設における食支援の取組み

(5) 情報提供

(6) 閉会

6 食支援に関する展示・紹介コーナー (会場：中研修室)

各団体・企業等における、食支援や嚥下食提供等に関する取組み・研究について展示・紹介します。

7 その他

【後援】

鶴岡地区医師会、酒田地区医師会十全堂、鶴岡地区歯科医師会、酒田地区歯科医師会、山形県看護協会、山形県薬剤師会、山形県栄養士会、山形県理学療法士会、山形県作業療法士会、山形県言語聴覚士会、山形県歯科衛生士会、山形県介護支援専門員協会、日本料理研究会荘内支部鶴岡庖栄会、日本料理研究会酒田支部、庄内DECクラブ、酒田のラーメンを考える会、鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町